資料１－３

標準的なモデルの戸別受信機の仕様書例の作成に係る実態調査（案）

１　目的

今後、本検討会で決定する標準的なモデルの戸別受信機について、市町村が導入する際の事務負担を軽減し、市町村の導入を促進するための仕様書例を作成する。この仕様書例は、市町村が新規に防災行政無線の戸別受信機を導入する場合又は導入済みの戸別受信機を更新する場合に活用することを想定している。

仕様書例を作成するにあたり、現在、防災行政無線システム（操作卓・親局・中継局・屋外拡声子局・戸別受信機等）を整備する際の仕様書や、市町村担当者の問題意識等の実態を把握し、仕様書例に記載すべき項目、要件、留意事項を検討するため、以下のとおり、調査を行うこととする。

２　調査対象

平成 27 年度に戸別受信機を配備した市町村（472 団体）から無作為に抽出した 50 団体

３　調査内容

・防災行政無線システムの仕様書の入手
・仕様書における戸別受信機に関係する部分の抽出及び類型化
・仕様書における「親局、中継局、屋外拡声子局」と「戸別受信機」の相互接続性に関する記述の抽出
・市町村担当者の所感（仕様書の作成で苦労した点、仕様書例の活用に関する要望等）

４　調査時期

平成 29 年８月～10 月

以上